

慶應義塾医学部新聞

発行所 三田会医学部新聞編集室
〒160-8582 東京都港区信濃町27番
電話(03)5512111 内線4056
会誌についてはこちら
会誌編集科 〒160-8582
〒160-8582 慶應義塾大学
発行人 三田会
毎月1日20日発行

信濃町駅前・各種診療
慶應義塾大学病院

各教室教育関係者が多数参加

医学教育プログラムへの活用が期待

信濃町キャンパス（信濃町）に建設された Cyber Medical School（信濃町校舎）は、従来の医学部校舎とは異なり、各教室が互いに連携し、教育プログラムへの活用が期待されています。この校舎は、最新の教育設備を備え、学生が自由に学習できる環境を提供しています。また、各教室の教育関係者が多数参加し、教育プログラムの改善や新プログラムの開発に取り組んでいます。



大学病院（信濃町）構内建物配置図

論壇

卒後臨床研修医制度の成功が学部教育のレベルを引き上げる

神崎 仁

卒後臨床研修医制度の導入は、医学教育の質を向上させる重要なステップです。この制度により、学生は臨床現場で実践的なスキルを身につけ、卒業後の臨床現場で活躍できるようになります。また、卒後臨床研修医制度の成功は、学部教育のレベルを引き上げ、学生全体の学力を向上させることに貢献します。

医学教育ワークショップ開催

本学では、医学教育の質を向上させるため、医学教育ワークショップを開催しました。このワークショップでは、各教室の教育関係者が集まり、教育プログラムの改善や新プログラムの開発に取り組んでいます。また、学生も参加し、実践的なスキルを身につける機会を得ました。



CMS内部見学会で説明を聞く医学部長

研修医用宿舎改修工事完了

個室17平米、シャワールーム整備

本学では、研修医の生活環境を改善するため、研修医用宿舎の改修工事を完了しました。この宿舎は、個室17平米、シャワールームを整備し、快適な生活環境を提供しています。また、宿舎の改修工事は、学生全体の生活環境を向上させることに貢献しています。

相川直樹教授(病院長) 国際熱傷学会を主催

40カ国から五一八名が参加

相川直樹教授は、国際熱傷学会を主催し、40カ国から518名が参加しました。この学会は、熱傷の診断や治療に関する最新の研究成果を発表し、国際的な交流を促進する重要な機会となりました。

相川直樹病院院長(救) 救急功労賞を受章

救急功労賞を受章

相川直樹病院院長は、救急功労賞を受章しました。この賞は、救急医療に貢献した方に対する表彰であり、院長の卓越したリーダーシップと貢献を称賛しています。

医学教育の目指す所

医学教育の目指す所

医学教育の目指す所は、学生が最新の医療技術と知識を身につけ、臨床現場で活躍できるようにすることです。また、学生が社会貢献意識を醸成し、医療の発展に貢献できるようにすることです。

日本内分沁学会若手研究奨励賞

若手研究奨励賞

日本内分沁学会若手研究奨励賞を受賞しました。この賞は、若手研究者の優れた研究成果を表彰し、研究の発展を促進するための重要な機会となりました。

第74回生涯教育研修セミナー

（田舎後臨床研修セミナー）

日時：平成16年10月30日（土）午後3時～5時
場所：新館4Fホール（551）551（新館）
参加費：無料

開会の辞 生涯教育研修セミナー委員会委員長 入 坂 貴 典
挨拶 医学部長 北 島 政 樹
慶應義塾会長 川 村 泰 典

講演会

「安全な医療を確保するために」—医療事故および医療過誤の防止—

安全な医療を確保することは、医療の最も重要な課題の一つであり、そのためには医療事故や医療過誤の防止が不可欠である。本講演会では、医療事故や医療過誤の防止に関する最新の研究成果を発表し、医療の質を向上させるための取り組みについて議論する。

1. 「チーム医療における事故の発生要因と予防」 吉村 泰典
2. 「医療における患者の自己決定権」 宗 謙 彦
3. 「最近の医療事故調査」 藤 山 肇 行

懇話会 大正堂日本医師会株式会社 代表取締役社長 上 原 明
祝辞 大正堂日本医師会株式会社 代表取締役社長 上 原 明

懇話会（午後6:00-）
挨拶 吉村 泰典
祝辞 大正堂日本医師会株式会社 代表取締役社長 上 原 明

懇話会（午後6:00-）
挨拶 吉村 泰典
祝辞 大正堂日本医師会株式会社 代表取締役社長 上 原 明

慶應医学学会例会

下記により例会を開催いたしますので、ご来聴くださるようお願い申し上げます。

日 時 平成16年11月16日（火）午後6時30分
場 所 総合医科学研究棟2階 南側会議室
演 題 Radiotherapy based on Sentinel node Procedure
演 者 Ion Christian Kirikuta, MD, PhD
Professor, Dr. Institute of Radiation Oncology
St. Vincenz Hospital (Limburg University)
Limberg/Lahn
Germany
担 当 放射線科教室
責任者：久保 敦 教授
担 当：藤井 博史先生（内線：62531）
主 催 慶應医学学会 共催 慶應医師会
The Kelo Journal of Medicine

慶應医学学会例会

下記により例会を開催いたしますので、ご来聴くださるようお願い申し上げます。

日 時 平成16年11月25日（木）午後6時
場 所 新教育研究棟講堂 3
演 題 New era of implant dentistry
演 者 Clarence C. Lindquist, DDS
President, Academy of Osseointegration
Washington, D.C.
USA
担 当 歯科・口腔外科学教室
責任者：朝飯 一郎 教授
担 当：河原 裕正先生（内線：62484）
主 催 慶應医学学会 共催 慶應医師会
The Kelo Journal of Medicine

平成十六年度 三四会員が会長担当の定例学術集会

十月三十一日開催の集会

（日本学術会議が主催する学術集会）

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

平成十六年度 三四会員が会長担当の定例学術集会

十月三十一日開催の集会

（日本学術会議が主催する学術集会）

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

平成十六年度 三四会員が会長担当の定例学術集会

十月三十一日開催の集会

（日本学術会議が主催する学術集会）

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。

学術集会の開催は、学術の発展を促進し、国際的な交流を促進するための重要な機会です。本学では、学術集会を開催し、最新の研究成果を発表し、学術の発展に貢献しています。